

株式会社 全国商店街支援センター  
平成27年度 商人塾支援事業  
(事業報告書概要版)

実施機関:高岡商工会議所(富山県高岡市)

参加商店街:末広町商店街(振)成美商栄会 TSB 商店会 西部商工会 瑞龍寺  
夢参道まち衆会 のむら商工振興会 東部商工会

コーディネーター:中村 総一郎 氏 (税理士法人中村税務みらい経営 所長)

次世代の高岡を支える女性リーダー塾

元気で意欲的な女性がつながり、売上も高岡市も私たちからパワーアップさせる

「自己研鑽」 個店繁盛と地域活性化に寄与する自身の資質に気づく

「相互交流」 自社と街、個人がつながりあうことの良さとメリットを体感する

「目標設定」 地域活性化のリーダーになる必要性を理解する



## カリキュラム

### 第1回

会社や地域でもっと輝く女性になろう～能力を最大限に発揮するために～  
講師：坂本 祐央子 (株)シェヘラザード 代表取締役



### 第2回

良い商品やサービスを考える～事業、商品評価の着眼点～  
講師：北村 森 (株)ものめぐり 代表取締役



### 第3回

元気な街と会社を考察する  
講師：松井 洋一郎 (株)まちづくり岡崎 代表取締役  
河村 啓太郎 (株)まちあい徳山 代表取締役



### 第4回

女性らしさを経営に～本当のおもてなしとは～  
講師：楠 峰子 和倉温泉加賀屋客室部 シニアマネージャー



### 第5回

会社、街をどう変える？プランの作り方  
講師：中村総一郎 税理士法人中村税務みらい経営 代表社員・所長



### 第6回

卒塾式  
講師：中村総一郎 税理士法人中村税務みらい経営 代表社員・所長



# 想い

## “日本一、しごとでしごとが輝く街”のはじまりは女性のための「商人塾」

商店街・商業を取り巻く環境

止まらない悪循環。環境は待ってられない

様々な要因が渦巻く...

モーターリーゼーションの進展

都市間競争

景気低迷(増税)


少子高齢化

- ◆ 中心商店街の歩行者通行量は昭和51年に比べて1割程度に変化。平日一日1032人、休日952人(文苑堂前)。休日よりも平日歩行者数が逆転。  
※551 平日15919人、休日17650人
- ◆ 2002年にイオンモール高岡が開業。2015年に新高岡駅の開業により高岡駅南の拠点性の高まりから**商業拠点が移動**。高岡駅利用者は新高岡駅開業前と比べて %減。通勤通学者に限られた交通拠点となっている。
- ◆ 2015年、隣接市にアウトレット、コストコ、イオン等大型商業施設が新たに開業

<後継者に関する問題>

- ◆ 高岡市中心商店街は高齢化、組織弱体化、非物販の増加、居住の増加によって商店街活動が出来ない状況になりつつある。

◆ **後継者不在は74%** (高岡市商店街連盟調査。回答者7割が60代)。ほとんどが自身で廃業予定。  
→高岡の顔、10年後はどうなる?



この状況をどう考えますか？ 挑戦するタイミングは「いま」

追い風吹くいま、女性だからできる活性化！


追いつけない悪循環。環境は待ってられない

◆ たかおかまちゼミ、受講者満足度は96%。参加店、参加者ともに増加  
→女性参加者、女性店主・従業員の意欲的な姿が背景

◆ 高岡市の人口は現17.1万人。自然・社会動態ともに減少→15~29歳の若者世代の転出が大。  
**若者・女性が住みやすく子育てしやすい、力を発揮しやすい地域社会の形成を目指す。**  
※2020年以降は政策努力によって社会像を目指す。2060年12.5万人確保が目標。

◆ 高岡ウーマンズプロジェクトとは？ 高岡市が実施する女性の定住・活躍による経済の活性化施策のこと。  
・女性の活躍を促すことづくり  
・女性起業家の支援  
・女性がしごとと子育てを両立できる環境づくり  
→連携(つながり、かわり、コラボ)で実現

女性が活躍しやすい環境に加え、女性がいきいきと暮らせる場づくりへ  
→新たな(市場)機会の登場？



◆ 内閣府が「2020年30%」の目標を掲げる。社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%とすると発表。活動の場を積極的に支援する方向。

◆ 国が女性の起業等において融資を積極的に行うといったバックアップが充実。女性向け制度やサービスが利用しやすくなる。

◆ **消費者が「女性視点」の商品やサービスを熱望。**

### ▲高岡市の商店街と女性を取り巻く環境

郊外への大型店出店、モーターリーゼーションの進展、都市間競争、少子高齢化、景気後退等、高岡市の商店街を取り巻く環境は年々厳しくなっています。これらの要因から商店街組織の弱体化に繋がり、商店街活動がスムーズに行われなくなっていることが現状です。最も私たちが懸念しているのが「後継者不足」です。平成24年度に高岡市商店街連盟が実施した「事業後継者に対するアンケート」(12商店街225名回答)では、「後継者がいますか」の設問には「はい26%」、「いいえ74%」と回答があり、総回答者数の内、**4分の3事業所に後継予定者がいない**ということが分かりました。回答者7割が60代以降だったこともあり、近い将来の商店街の変化にとっても不安を感じました。ここで私たちは商店街組織の活性化を目指し、時代の追い風である「女性」に着目し、次世代リーダーの発掘と育成に取り組もうと試みました。



## ねらい

当塾の重点ポイントは①地域を見直すこと②参加者同士の関係性を育むこと③12の質問を問いながら考えを深めることです。男性と比較し、経営者やリーダーといった点ではまだ「貴重」な存在である女性経営者等を地域のリーダーとしての自覚を芽生えさせることは非常に重要なことと考え、そのため高岡の課題は何か。社会にとって、商店街・地域にとってどうありたいのか。まちづくりってどんなことかという塾生にとって「新しい視点」を生む講義を随所で行うことで、地域活動への一端を担っているという参画意識の醸成を行いました。また、高岡は若

者と女性の転出が人口減少に繋がっています。高岡にとって今居る彼女たちを大切にするとともに、この彼女たちが集まり行動すること、加えて彼女たちという存在を発信することは次世代を作る非常に重要な役割を果たします。だからこそ、つながりを強化させ、この渦をもっと大きくしていかなければならないと考え、ランチ交流会や夜の懇親会、時にはゲームを共に楽しみながら、非公式でも時間を共有することで互いの関係性を育んでいきました。そして、塾生が研修テーマへの理解関心が深まった時に、自分なりの思いを整理することで考えるきっかけづくりを提供した「経営姿勢に対する12の質問」の投げかけです。①何のために経営をしているか②どんな会社（お店）をつくりたいか③どんな経営者になりたいか④利益についてどう考えているか⑤一緒に働く社員さんへの思いは⑥会社（お店）は誰のものか⑦大切にしている価値観、人生観は⑧顧客に対する基本的な姿勢は⑨御社の商品・サービスを選ぶことでお客様のメリットになっていることは⑩取引先、仕入先に対する基本的な姿勢は⑪あなたの会社（お店）が地域で果たしている役割（存在意義）は⑫あなたは何屋さんですかという題目は簡単そうで簡単には書けず、自分や経営と向かいあう事で初めて答えが生まれるものです。この回答をベースに年々更新しながら、今後、彼女たちがこれからこの質問に対してどう変化していくのかといった成長にも期待しています。



## コーディネーターから



塾生にヒアリングしてみると、こちらから指示していないにも関わらず「社内で共有してみた」「同僚と話をしてみた」「社長と話し合った」という方が想像以上に多く、女性の勤勉さとともにこの商人塾への真摯な取り組み姿勢を改めて感じさせられました。開催当初から積極的な交流はあったのですが、商人塾

の場以外でもビジネスとして交流も生まれていたようで、回を重ねるごとに「あの方とこんなことをすることになった」「これからこんなことをやりたいんだけど」といったような新しい動きを多々伺えたことも非常に大きな成果だと思います。

事務局・コーディネーターの課題、塾生の課題として分けて考えると、まず事務局側の課題はこの塾生を「リーダー」として大切にし、交流と活動の輪を支援する場の提供をし続けることで、塾生の課題はこのエネルギーを地域に還元させていくこと。この両輪を動かし、良い循環をコーディネーター、事務局、塾生が絶えず起こしていくことに他ならないと考えています。

## 今後に向けて

積極的かつ関係性を育むことができたこともあって、塾生から「せっかく展望を共有しあったのだから、結果報告会もやってみては?」「このメンバーで何か事業をやりたい」「2期生と交流会もしたい」といった継続の意向を多々伺うことができました。現在の計画では①継続的な塾の開催はもちろんのこと②地域における女性の活躍を推進する応援団としても活動いただきたく、セカンド名刺を作成・利用しながらPR活動を期待するとともに、③塾生同士のコラボ事業の支援や塾生提案のまちづくり事業において当所が全面的に支援できるように塾生との交流を継続させていきたいと考えています。現在も塾生提案事業が計画進行中であり、事業から事業への拡がりが見られていることに大変有り難いことです。今後も互いの関係性を保ちながら上記の事業を推進していきたいと思っています。

## 卒塾生代表



初回の講座からとても活気のあった当塾。市内にこんなにも「私、がんばりたいんです!」という女性が多い事を知り、とても感動しました。私たちの可能性をどんどんと教え、引き出してくれた研修、そして私たちに求められていることを教えてくれた研修、最後に目標設定の重要性を改めて知らされた研修。どれも大きな気づきと発見の連続でした。これからも学びと行動を継続させ、情熱を持ち続け、商店街やお店へ還元させ

ていきたいと思っています。ありがとうございました。